

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市立文化展示ホール
(2) 指定管理者	所在地 津山市新魚町17 名称 津山街づくり株式会社 代表者 代表取締役 菅田 茂
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
(5) 評価対象期間	平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	50,949人(前年度56,577人)
(2) 事業の内容	・施設管理業務等 (展示会の内容) 華道展・書道展・美術展・写真展等 合計60件 ・年間稼働率83パーセント(前年度80.9%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 5,415千円(前年度5,212千円) 指定管理料 2,307千円 利用料金収入 3,108千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 3,787千円(前年度3,410千円) 主な支出 光熱水費 813千円 施設管理委託料 485千円 消耗品費 182千円 共益費・修繕積立金 2,307千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	・ほとんどの利用者が、管理運営・受付案内について「満足」または「普通」と回答している。 ・駐車サービス券を発行して欲しいとの意見も多い。 ・経年による設備(壁)・備品の減少劣化について、改善の要望が多く寄せられている。 ・先取り団体が多く、申し込み会で希望の日程が取りづらいとの不満の声が多い。
(2) 指定管理者の自己評価	・施設の良好な維持管理には努めているが、設備の劣化・備品の減少もあって利用者の要望に十分に答えられていない面もある。 ・年間を通して、土日については12月に実施している申し込み会で埋まっているが、芸術文化活動以外の一般利用へのセールスにより、平日空きスペースの稼働も促進している。 ・前年並みのホール稼働を維持しているものの来場者数の減少が目立っている。来場者数の増加を促す対策が今後の課題である。

<p>(3) 市の評価</p>	<p>年間稼働率は、83%と前年度を上回り高い稼働率であり、利用料金収入についても高い数字を維持している。これは、立地条件もさることながら指定管理者の細やかなサービスが利用者に受け入れられているためと評価できる。</p> <p>今後においては、市民の創造的活動やその発表を援助する事業に加え、優秀な芸術作品の鑑賞の機会を提供するための事業などを企画立案し、更なる文化の交流を目指す取り組みを期待する。</p>
-----------------	--